

大学の入試方法について知ってる？

みなさんはこれまで入試を経験されたことはありますか？ほとんどの人がこのカトリック中学校に入学する際に入試(面接や作文)を経験したと思います。そして中学3年生は3年後、中学2年生は4年後、中学1年生は5年後に再び入試を迎えるでしょう。それは、大学入試です。そこで今回は、大学の入試制度について学んでいきましょう。

3年後、5年後のことなんて、今考えなくても大丈夫。と思っているあなた！それは間違いです。知識として、早いうちからたくさん情報を得ておくことはとても大切です。

Q1:大学ってどんなタイプがあるの？

—そもそも大学は、国立大学、公立大学、私立大学の3種類に分けられます。基本は全て4年制大学ですが、医学部、歯学部、獣医学部などは6年制です。その他に、専門学校や短期大学もありますが、多くの先輩方が4年制大学を目指して頑張っています。

Q2:大学の入試方法はどんなものがあるの？

—大学の入試制度は、大きく分けて4種類あります。「**総合型選抜(AO入試)**」、「**学校推薦型選抜(推薦入試)**」、「**一般選抜(一般入試)**」、「**大学入学共通テスト(センター試験)**」です(カッコ内は昔の名称)。



Q3:私はどの入試方法が受けられるの？受けたらいいの？

—各選抜方法を詳しく見ていきましょう。

①「**総合型選抜**」とは、**大学が求める学生像に合致する人物を選抜する方法**です。それぞれの大学には、「どのような学生に入学して欲しいか」を、**アドミッションポリシー**として掲げています。面接などを通して人物を評価することによって、そのアドミッションポリシーに合致する人物を選抜していきます。その他にも、**書類選考(志望理由書や調査書)**と**小論文**が課されます。大学によっては、さらに学力試験や**プレゼンテーション**、**グループディスカッション**、**フィールドワーク**なども課されます。つまり、その大学のアドミッションポリシーに合致していれば、誰でも出願できます。

②「**学校推薦型選抜**」とは、**出身高校の学校長の推薦がないと出願できません**。さらに、出願の際には、「**調査書の学習成績の状況(評定)〇〇以上**」、「**〇〇浪**まで」、などの出願条件が設定されている場合が多いです。中でも私立大学の「**学校推薦型選抜**」は、「**スポーツ推薦**」、「**有資格者推薦**」、「**課外活動推薦**」などがあります。どの分野の推薦選抜においても大切なのは、その分野で**実績を残していることが必須**です。

③「**一般選抜**」とは、**各大学が教科数や科目数を指定して行われる各大学独自の個別入試**です。全国の国公立大学は受験日が同じなので1校しか受験できませんが、私立大学であれば、統一の入試日が設けられている訳ではないので、**試験日が被らなければ何校でも受験**できます。

④「**大学入学共通テスト**」とは、**国内最大規模の試験**です。この試験は、各大学が独自に作成した入試問題ではなく、**各大学が大学入試センター(独立行政法人)と共同で実施する試験**です。毎年1月中旬の土日の2日間に**全国で一斉に実施**されます。国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。最近では、多くの私立大学でも「共通テスト利用方式」を設定しているところがあります。**出題科目は6教科(国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語)です**。自分が志望する大学が指定する教科・科目を選択して受験します。**解答方法は全て「マーク式」**です。かつてのセンター試験よりも、**思考力・判断力・表現力**等を一層重視した評価ができるように、作問や出題形式が見直されています。全教科で、グラフ、地図、写真、文章などを読み取る資料の分量が増えています。つまり、みなさんが先月学校で受験した「**中学総合学力調査**」と同じ傾向です。

出典先：河合塾グループ

～大学受験に向けて中学生の内からできること！～

☞ 日頃からコツコツと勉強！

高校の評定平均値(全教科の成績を足し合わせて科目数で割った数)が合否に大きく左右するので、日頃からコツコツと勉強しておくことが必要です。

☞ 志望理由を明確にする活動を！

総合学習で行われるキャリア教育の時間や、各大学が実施しているオープンキャンパスを利用して、志望理由を明確に見つけておきましょう。

☞ 積極的な課外活動への参加を！

ボランティアなどの情報を収集し、積極的にチャレンジしていきましょう。経験や実績を積むことが、面接であなたの経験を語るときに役に立ちます。

☞ 普段の授業を大切に！

小論文や面接、プレゼンテーションやグループディスカッションなど、普段の授業や学校生活で行われている様々な活動を大切に、経験を積み重ねていきましょう。